

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 17

2009年6月16日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大産学連携広報より、お知らせやイベント情報をお届けします。
<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>からもご覧いただけます。

★今回の“静大ラボ紹介”は 大岩孝彰研究室です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 知的財産本部知財コーディネーター公募のお知らせ
2. 「相談会」やらまいか!のご案内
3. 「JDreamII研修会(浜松)」のご案内
4. 「第8回産学官連携推進会議」に出展します
5. 「第8回国際バイオEXPO」で発表・展示をします
6. 「第3回ビジネスマッチング in Hamamatsu 2009」に出展します
7. 「CIC東京新技術説明会」に参加します
8. 「第18回共同研究希望テーマ説明会」を開催します

1. 知的財産本部コーディネーター公募のお知らせ

募集人員 知的財産本部特任教員(知財コーディネーター兼務)若干名
雇用期間 単年度毎に契約更新の長期雇用
勤務地 静岡もしくは浜松キャンパス
応募締切 平成21年7月31日(金)必着(当日の消印可)
採用月日 随時(相談による)
詳細 <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>
問合せ 静岡大学学術情報部産学連携支援課長 出崎
TEL 053-478-1414

2. 「相談会」やらまいか!のご案内

日時 2009年6月17日(水)13:00~17:00
会場 浜松市城北図書館2階 第2研修室
対象 企業や新規事業をお考えの方、中小企業経営者の方など
内容 起業・創業、経営相談など(1組1時間程度)
定員 1時~ 2時~ 3時~ 4時~ の計4組
相談員 岩井 敏雄氏
問合せ 浜松市城北図書館 TEL 053-474-1725

3. 「JDreamII研修会(浜松)」のご案内

日時 2009年6月18日(木)13:00~16:30
会場 浜松市地域情報センター
コース JDreamII入門コース
対象 初めてJDreamIIをご利用いただく方
参加費 無料
詳細 https://pr.jst.go.jp/order/JDream2sem/JDream2sem_schedule.asp?m=6
問合せ 科学技術振興機構(JST)名古屋デスク 担当 北川
TEL 052-829-3751

4. 「第8回産学官連携推進会議」に出展します

日時 2009年6月20日(土) 9:00~18:30、21日(日) 9:00~12:30
会場 国立京都国際会館
主催 内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、
(社)日本経済団体連合会、日本学術会議
入場料 無料
詳細 <http://www.congre.co.jp/sangakukan/top.html>
問合せ 第8回産学官連携推進会議事務局 TEL 03-5216-5620

※「第8回産学官連携推進会議」ワークショップのご案内

大学と企業との契約・交渉の実務
～共同研究及びライセンス契約の鍵～

日時 2009年6月20日(土) 12:15~13:15
会場 国立京都国際会館本館1階RoomC-2
定員 150名
講演者 (社)発明協会静岡県支部 風間泰寛特許流通アドバイザー 他
詳細 http://www.congre.co.jp/sangakukan/pdf/ws_03.pdf

5. アジア最大のバイオイベント

「第8回国際バイオEXPO」で発表・展示をします

日時 2009年7月1日(水)~3日(金) 10:00~18:00
場所 東京ビッグサイト
主催 リードエグジビジョンジャパン(株)
静大の発表内容

『活性酸素を安全に低コストで測る蛍光定量法』

工学部 平川和貴

『キノコ由来の植物成長促進物質の作物生産への応用展開』

創造科学技術大学院 河岸洋和

『身体状態評価の試み-皮膚電気反射と心拍変動解析が語るもの』

電子工学研究所 杉浦敏文

『植物ホルモンホメオスタシス調節剤』

農学部 轟泰司

『高活性リグニン分解菌及びリグニン分解酵素とその利用』

農学部 平井浩文

申込方法 下記URLより展示会招待券をお申込みください。
お申込みにより、入場料が無料となります。
(招待券のない場合は入場料5000円が必要となります。)

詳細/申込先 <http://www.bio-expo.jp/jp/>

発表の問合せ先 静岡大学知的財産本部
TEL 054-238-4630、053-478-1414

6. 「第3回ビジネスマッチング in Hamamatsu 2009」に出展します
Go Challenge! ~ “地球に優しく” 未来のために~

日時 2009年7月21~22日 (21日10:00~17:00, 22日10:00~16:00)
会場 浜松市総合産業会館(浜松市東区流通元町20-2)
主催 浜松商工会議所 浜松信用金庫
共催 遠州信用金庫 はましん経営塾
主旨 地元中小企業にビジネスマッチングの「出会いの場」を提供し販路
拡大・受注確保などのビジネスチャンス創出を強力にバック
アップします。また、大学・支援機関も参加し連携をいっそう強め、
地元企業および地域の活性化推進を目的として開催します。

内容は特に「環境」をテーマを絞り、当地区の優れたものづくりをPRします。展示参加数は、約130機関です。

内容 展示商談会、出展企業個別商談会、販路開拓支援相談会、経営・技術相談会

入場料 無料

詳細 <http://www.hamamatsu-bmf.jp/>

問合せ先 浜松商工会議所工業振興課 TEL 053-452-1116

7. 「CIC東京新技術説明会」に参加します

日時 2009年7月24日（金）10：00～16：40

会場 キャンパスイノベーションセンター東京

主催 CIC東京、（独）科学技術振興機構

静岡大学の発表

- 「マルチスティックUWBレーダによるマイクロ波イメージング」
工学部電気電子工学科 教授 桑原義彦（10：40～11：00）
- 「亜臨界水を用いたバイオマス廃棄物の高効率エネルギー変換技術」
大学院創造科学技術研究部 教授 佐古猛（15：00～15：20）

参加費 無料

発表の問合せ先 静岡大学知的財産本部 TEL 053-478-1414

8. 「第18回共同研究希望テーマ説明会」を開催します

静岡大学の14名の研究者が食品・環境・バイオ関連の研究成果について発表し、共同研究の可能性をご提案します。

日時 平成21年7月30日（木）13:00～17：30(予定)

場所 静岡市産学交流センターB-nest7階大会議室

主催 静岡大学イノベーション共同研究センター

内容

1. 「ストレスと身体反応」
電子工学研究所 杉浦敏文
2. 「養液栽培で広がる農業ビジネスの可能性」
農学部 切岩祥和
3. 「種特異的な生分解性除草剤の開発」
理学部 天野豊己
4. 「キノコが作物を育てる?!」
創造科学技術大学院 河岸洋和
5. 「リグニン及び環境汚染物質高分解性担子菌の開発」
農学部 平井浩文
6. 「木質系バイオマス資源からの生理活性物質の検索」
農学部 河合真吾
7. 「バルカナイズドファイバーの原料開発と製造方法の検討」
農学部 鈴木恭治
8. 「白色腐朽菌およびその酵素を用いるバイオレメディエーション」
農学部 西田友昭
9. 「早成バイオマス・ケナフ炭化物による室内ホルムアルデヒドの低減」
農学部 渡邊拓
10. 「メタボリックシンドロームを予防・改善する食品成分の探索」
農学部 茶山和敏
11. 「光線力学的療法用光増感剤の開発」
工学部 平川和貴
12. 「新たな創薬ターゲットとしての植物P450の可能性」
農学部 轟泰司

13. 「植物脂質合成系研究の可能性」

理学部 木寄暁子

14. 「注意欠陥多動性障害(ADHD)の新たなモデル実験系確立をめざして」

理学部 竹内浩昭

参加費 無料(事前登録制)

問合せ 静岡大学イノベーション共同研究センター 静岡オフィス

TEL 054-238-4630

《 静大ラボ紹介 -3- 》

工学部機械工学科 大岩孝彰研究室

静岡大学浜松キャンパスで毎年秋に開催される「テクノフェスタ in浜松」は、今年で14回目を迎える。

理科離れが言われる中、子供を含む多くの市民に、解り易く大学を理解頂く絶好のこの機会に、例年子供たちが目をみはるものの一つに、物体浮揚現象がある。平板や紙の小片が空中に浮いている不可思議な様子は、大人にも面白い。

超音波による浮揚現象を今後の産業界に活かそうと日夜研究に取り組む大岩研究室の親しみ深い展示である。

工作機や計測器等には今、効率良く精度高いサブミクロンオーダーの案内要素が求められている。ころがり直動案内の軌道面を超音波加振して転がり摩擦やすべり摩擦を低減させる手段は高減衰能化をも同時達成できて、位置決め精度向上と整定時間の短縮の達成が同時にできる注目の技術である。

大岩研究室の研究は、精度と剛性を同時に達成するような精密メカニズムが中心であり、高精度な加工や計測に必要なワークとツールの間の運動精度向上のために、振動・熱・外力などの外乱の影響を排除して達成する機械システムも開発している。今後の産業界を下支えしていく重要技術として熱い視線を浴びている。

(記：藤田武男)

《 みんなのコラム 》

私の趣味は溪流釣り。休日となれば大小の沢を歩き回り、尺(1尺=30.3cm)を超える大物を狙う。釣り師としてのこれまでの勘と経験で、仕掛けを選び、竿を振る。ふと、産学官連携や知財活動にも似ているかと思う。

研究シーズは「仕掛け」、メーカーが用意するのは「竿」であろうか。「釣り師」であるユーザや消費者は、尺物(幸せ)を期待して流れの中のポイントを探る。さて、尺物を捕らえられるように周到に準備するのが、コーディネーターとしての私の役割だろうか。

東海iNETの産学官連携と静岡TTOの知財マネジメントが、研究シーズと市場ニーズをマッチングするための「仕掛け」作りとなり、それを産業界が納得し十分活用されるようになることを願って、溪流釣りと仕事に励む昨今である。

(記：伊藤 悟)

《 編集後記 》

今月12日、静岡大学を含む産・学・官の9機関が提案した「光・電子技術イノベーション創出拠点」が、文部科学省と経済産業省が行う「産学官連携拠点の形成支援」の対象となる事が発表されました。

地域の特色を活かし、地域産業の競争力強化や新産業創出による産業構造改革などを目指して産学官連携活動が行われる拠点として採択され、本地域の産学官が連携して行う「産学官連携拠点」の形成事業に、向こ

